



平成小学校PTA
会 長 川 上 信 幸 さん



「自分が住む町の自然を守る」 子ども達も一緒に取り組む美化活動

五島列島の福江島にある五島市立平成小学校。自然が多く残るこの地で、平成2年に3つの小中学校が合併し平成小学校が誕生。同時にPTAが結成されました。平成16年からは年に2回、小学校のほど近くの県管理二級河川、中須川にある河川公園はたるの里周辺や、一般県道の清掃美化活動を平成小学校の児童、先生、地域のボランティアも一緒になって行っています。

「活動を通し、親と子がお互いの活動する姿を見て、それぞれが新しい発見をしているようです。互いの理解を深めることで学び合い、成長する機会になっています」と代表の川上信幸さん。子ども達が保護者と一緒に頑張って清掃活動することに不満も出ず、ごく自然なこととして参加している姿に大人たちも驚かされています。

清掃美化活動のほかにも、田植えなどの自然体験にも積極的に取り組んでおり、卒業生らが植樹した梅の木が約50本もある梅園で約300kgの梅を収穫。毎年梅ジュースや梅干しを作って楽しんでいます。子ども達は自分で世話をした梅の実ということもあり、夏場には冷たい梅ジュースを喜んで飲んでいるそうです。

平成24年5月には日本河川協会から河川功労者として表彰を受けました。「子ども達はこの自然が当たり前で、自分たちが住んでいる町の自然を守る活動をするのも当たり前だと思っている。でも、それは誰もができることではない。今やっている自然を守る活動はとても素晴らしいことで、自分が思っている以上に大切なことだと今回の表彰を受けて子ども達が感じてくれれば嬉しいです」と語ります。

